

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

# 友の会通信

2012-2013

No.1 (通巻65号)

2012.5.10 発行

- 目次 会長挨拶／「開館15周年記念コンサート」のご案内…………… 1  
平成24年度総会報告…………… 2  
会員随想「山五十川で山戸能と歌舞伎に会う」…… 3 初夏の研修旅行／サークル「白河荘を歩く会」／編集後記…… 4

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)  
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 <http://wind.ap.teacup.com/togo/>

博物館HP [http://www.city.agano.niigata.jp/togo\\_museum/index.html](http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html) E-mail [y.togo@oregano.ocn.ne.jp](mailto:y.togo@oregano.ocn.ne.jp)

## 新たな活動を求めて

吉田東伍記念博物館友の会会長 長谷川 明一 (はせがわ めいいち)

平成24年4月15日の友の会定期総会開催にあたって、来賓に阿賀野市教育委員会教育長（吉野晴記生涯学習課長代理出席）を迎えて、所定の議事を原案どおり承認いただきました。なお、総会の議を経て再度留任することになりました。あわせて、若干の役員の変更をお願いし、向こう2年間新たな気持ちで努めてまいります。

友の会が市民の中に定着し、今後もゆるぎない発展を持続していくには、何よりも会員・市民に理解され、親しまれ、誰もが参加してみたい、という知的欲求も満たしうる活動にかかっています。そのためには、何をどうすればよいかいくつかの課題に取り組む必要があります。13年間積み上げ定着したものとそうでないもの内容についての見直しはもちろんのことですが、新たな事業への取り組み、また、その腹案もあり、考慮中でもあります。

思えば15年前、この吉田東伍記念博物館の開館を慶び、影ながらも館を支えることが可能ならばという思いで発足した友の会であります。十年一昔といいますが、会員の入れ替わり、また館のあり方等々、当面する問題も様々ですが、改めて発足当初の思いを会員の皆さんと共に再確認し、地道に歩みを進めていきたいと考えております。

今年度、来年度は、博物館主催事業を全面的に支援し、過去に経験したことがない蠟燭能、薪能の演能が計画実施の段階に入っています。博物館開館15周年、阿賀野市合併10周年記念公演の実現に向けて、会員の連帯と気概に希望を託し、会員各位のかわらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 阿賀野市立吉田東伍記念博物館開館15周年記念コンサート

## TOGO Museum Ensemble 第14回演奏会「祈り、希望～そして未来」

日 時／平成24年6月2日(土)  
14:00 開演 (13:30 開場)

会 場／阿賀野市立吉田東伍記念博物館  
付属「吉田東伍生家」大広間

入 場 料／友の会会員は無料  
※会員以外の方も通常入館料 (一般300円、小中学生150円)  
のみでご鑑賞いただけます。

申し込み／不要 (直接会場にお越しください)

主催：阿賀野市立吉田東伍記念博物館、吉田東伍記念博物館友の会

#### 《出演》 TOGO Museum Ensemble

ソプラノ：熊倉 由佳      ピアノ：高橋 尚子  
ヴァイオリン：奈良 秀樹・小島 健弘  
ヴィオラ：長尾 幸      チェロ：瀬高伸一郎

#### 《曲目》

モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルプス」、  
小学唱歌「港」、武満 徹「翼」、  
「上を向いて歩こう」ほか

# 平成24年度 総会報告

4月15日(日)、平成24年度総会が開催されました。会員27名が出席。会長挨拶に引き続き、吉野晴記生涯学習課長(教育長挨拶を代読)より、4月1日の人事異動で、渡辺史生博物館長が学校教育課学校教育室へ転出し、田村仁教育長が博物館長を兼務、生涯学習課から遠藤慎之介副館長が転入する旨のお話があり、渡辺氏、遠藤氏がそれぞれ挨拶をされました。議事(議長・長谷川明一会長)では、平成23年度事業報告・決算報告、役員改選、平成24年度事業計画・予算案について慎重審議の結果、下記・別紙のとおり承認されました。なお、総会后に安田城跡で会員有志によるお花見会を行いました。今年は桜の開花が遅くまだ蕾でしたが、晴天で暖かく、遠く五頭連峰の山並みと雪形の鑑賞しながらの楽しいひとときとなりました。今年度も友の会活動に会員の皆様のご協力をお願いします。(事務局)

## 平成23年度事業報告

期 日	内 容
4月17日(日)	平成23年度総会
4月17日(日)	市民文化講演会 2011 能の楽しみ 講師：津村禮次郎氏(観世流能楽師)
6月4日(土)	サロンコンサート Vol.10 和のサロン ～阿賀野市民による謡曲・仕舞と能面の展示(水原観世会・水原能面を打つ会)
6月13日(月)	初夏の研修旅行～秋葉区の歴史散歩～
8月6日(土)	星空への招待 2011(天体観望会)
8月26日(金)	とんと昔を聞く会
10月30日(日)	TOGO Museum Ensemble 第13回演奏会～弦楽四重奏の愉しみ～
11月23日(水祝)	秋の研修旅行～山形県 山戸能・山五十川歌舞伎の鑑賞～

## 平成24年度事業計画

期 日	内 容
4月15日(日)	平成24年度総会・お花見
6月2日(土)	TOGO Museum Ensemble 第14回演奏会
7月4日(水)・5日(木)	初夏の研修旅行
8月中旬	星空への招待 2012
8月3日(金)	とんと昔を聞く会
9月1日(土)	阿賀野市蠟燭能～博物館開館15周年記念事業～
10月上旬	サロンコンサート Vol.11～木管五重奏の愉しみ～
11月23日(金祝)	秋の研修旅行～山形県 黒川能の鑑賞～
12月	第14回研究発表会 発表テーマ・発表者(未定)
通 年	①パネル巡回展の実施
	②紙芝居「吉田東伍の生涯」の巡回
	③他の文化団体との連携・協力
	④学校教育への支援
	⑤インターネットによる広報活動「友の会通信ウェブ版」の充実

## 平成24・25年度 友の会役員

会 長	長谷川 明一
副 会 長	長谷川 大八(新任) 百都 政弘
会計監事	廣田 正博(新任) 渡辺 ヒサ(新任)
運営委員	阿達 十三子 小野 民裕 金子 祐也(新任) 黒坂 収 小林 弘 佐藤 智恵 白井 皓一 信田 久榮 渡辺 与志和(新任)
事務局	小野里 澄子 田中 洋史

※退任 会計監事/石山昭而、廣田康也

## 吉田東伍記念博物館の担当となって

副館長 遠藤 慎之介(えんどう しんのすけ)

遅咲きの桜も散り、田植えの農家が忙しく往来する日々となりました。私が異動で館に参ってから満一ヶ月。あらためて吉田東伍という人物が幅広く物事を考えた人であったと感じます。毎朝、新人は清掃からと、館内を他の日勤者とケースを拭いて中を見るたびにそう思うのです。その吉田東伍記念博物館を開館直後からサポートする会として今日に続いているのが、『友の会』と側聞しておりました。地域博物館とは、という言葉が博物館関係者の中で表だって取り上げられるようになって20年余りかと思いついていますが、人口規模や館の規模がさほど大きくないところで発展し、活動を続けている例は多くはないと思います。館も15周年を迎える年であり、蠟燭能の開催も控えています。

今後もこの新人にご助力をとお願いを申し上げ、一文とさせていただきます。

## 会員随想

# 山五十川で山戸能と歌舞伎に出会う

友の会会員 長谷川甫弘子（はせがわ ふくこ）

2階の窓を開けると、おや、手入れの行き届いていないのっぽの紅葉が、先端を茜色に染め始めているではありませんか。朝日がさっと差し込み、今日は恵まれた一日になりそうと晴れ晴れとした気分でした。

東伍記念博物館のバス旅行の日です。11月23日、満席のバスは朝日を受けながら出発し、久しぶりの旅。皆にこにこ顔で挨拶。「今日は皆さんの精進の良さがうかがえますね。満席です。参加費に余裕ができたので、特別にお土産用としてお小遣いを差し上げましょう。晴れ男、晴れ女に感謝し、楽しい一日にしましょう」と田中事務局の挨拶でした。幸先良い出発でした。ふと車窓に目をやると、陽に照らされた田園風景が広がり、何故か遙か遠い子供のころ遊んだ光景が浮かんできました。村で育ったわたし。遠くに山を眺め、家の側を流れる清流が心を豊かにしてくれました。曲がりくねったねこ柳のたれ下がる川は、遊び場所でした。めだかを捕る時には大きな鯉まで捕え、一日中遊びまわった夏の日がよみがえり。秋には落葉を集め、焚火をし、それに必ず焼いもというご褒美もありました。そんな遠い日に、いつのまにか思いふけていました。

ふと気付くと山五十川の道標が目に入り、2時間余りの旅の目的地、山五十川（やまいらがわ）公民館に到着しました。そこは、年2度行われる大祭の場所。春は5月3日、秋は11月23日と決まっているとのこと。野菜、漬物、果物等の土産物販売で大賑わいをしていました。赤かぶ漬を買いました。お昼の美味しいおにぎり、忘れられません。

短い時間を使って当野イミ子さんといっしょに、玉杉の大樹を見ようと…。山間を川が流れ、右に左に分かれた山の裾野に点在する家々。ここは戦いに敗れた落武者が住み着いたところなのでは…と勝手に話しながら、玉杉の聳える場所に向かいました。麓からきれいに整備された階段を15分程度登った所に大樹がありました。千五百という年月を、足をふんばり両手を広げ集落を守ってきたのでしょうか。何故か手を合わせてしまいました。

急ぎ目的の山五十川集落の山戸能と歌舞伎を鑑賞する会場に入りました。用意された舞台前列での鑑賞でした。これらは、山形県無形民俗文化財に指定されていて、山戸能は、河内神社の例大祭に行われる神事です。貞観年間とも寛永年間ともいわれているころ始められたとされています。山五十川歌舞伎は宝永年間、

山戸能は寛政4年ころ始まったとされ、二つとも、自治会、古典芸能保存会が守り伝えていると「旅のメモ」にありました。

最初は能。演目は「高砂」。播州高砂の浦にある高砂の松の木陰を白髪のお老夫婦が来て演ずる場面から始まり、1時間余の時を太鼓、囃子、地謡、後見と…堂々の演能でした。千年の齢を保つという松に象徴された老夫婦仲の、変わることのない長寿を保つというめでたい舞台でした。

次に歌舞伎です。演目は、「仮名手本忠臣蔵 七段目 祇園一力茶屋の場」。由良之助は、祇園一力茶屋で、艶やかな仲居たちと鬼ごっこをして遊ぶ場面から始まり、その場面場面のユーモラスな演技は、見事に観客を魅了しました。とりわけ「おかる」の演技にすっかり見入りました。かごや役の二人は、地元小学校の校長先生、教頭先生とのこと。忙しさの中、村の人たちとの稽古。その甲斐あってか、おちゃめなかごや役で、見事に楽しませてくれました。それに仲居役の人は、人一倍大柄なアメリカ人。観客から歓迎のどよめきが聞こえ、見る人、演ずる人が一体となりました。

村の方々に感謝し、帰路につきました。途中、「しゃりん」で、お土産をどっさり。子供だったころ、村の若衆たちが、年に一度、いろんな歌や踊り、演劇で村の人たちを楽しませてくれたことを思い出しながらバスにゆられていました。

とても楽しい旅でした。



山戸能

平成23年11月23日（水祝）、35名のご参加をいただいた研修旅行。参加者の長谷川甫弘子さんから旅行記を寄せていただきました。今年度は、当日の車中でもリクエストがありました黒川能（国指定重要無形民俗文化財、山形県鶴岡市櫛引地区）を秋の研修旅行で鑑賞します。期日は11月23日（金祝）です。詳細は、後日「友の会通信」でお伝えします。ぜひご参加ください。

## 初夏の研修旅行

# 「吉田東伍による貞観地震研究の足跡と多賀城・仙台」

恒例の研修旅行は、1泊2日で東北方面を訪ねます。1906年(明治39年)12月、吉田東伍は雑誌『歴史地理』に論文「貞観十一年陸奥府城の震動洪溢」を発表しました。今回の研修旅行では、869年(貞観11年)に発生した貞観地震・貞観津波をめぐって、吉田東伍が分析した陸奥国府多賀城跡、百人一首の歌枕として有名な「末の松山」比定地(多賀城市)、そして、東伍が仙台在任時に通った宮城県立図書館(仙台市)などを訪ねます。吉田東伍の研究の足跡と、震災からの復旧・復興が進む東北の地を訪ねる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

期 日 **7月4日(水)・5日(木)** (1泊2日)

集 合 午前8時:新津地域学園 午前8時30分:阿賀野市安田体育館駐車場

宿 泊 松島センチュリーホテル(Tel.022-354-4111)

行 程 **7月4日** 8:00新津地域学園発 ⇒ 8:30安田体育館駐車場発 ⇒ 磐越道安田IC・東北自動車道 ⇒ 11:30塩釜漁港(昼食) ⇒ 13:00多賀城市内着～「末の松山」比定地・多賀城跡・東北歴史博物館 ⇒ 塩釜神社 ⇒ 17:00 宿泊地着(夕食・宿泊)

**7月5日** 9:00ホテル出発 ⇒ 松島散策 ⇒ 11:00仙台市内着(含昼食・お土産)～宮城県立図書館・仙台城 ⇒ 15:00出発(帰路) ⇒ 18:30安田体育館着 ⇒ 19:00新津地域学園着

参加費 会員25,000円、非会員27,000円

※交通費・宿泊費・食事代(昼食2回・夕食1回)・入館料・保険料等を含みます。

※当日入会も可能ですのでご家族・ご友人などお誘い合わせのうえご参加下さい。

定 員 30名(先着順)

申し込み 6月20日(水)までに友の会事務局へ電話・FAXでお申し込みください。  
申し込みの際に集合場所と生年月日(保険加入のため)をお知らせください。

## サークルだより 白河荘を歩く会

11月例会報告

11月17日(木)午後、秋晴れのさわやかな天候のなか阿賀野市籠田・福永地区を歩きました。いつもように博物館で巡見地の事前レクチャー後、まず籠田・福永地区の景観を知るために、メガソーラーで話題の新潟東部太陽光発電所(阿賀野市かがやき)へ。五頭山・笹神丘陵はもちろん、遠く米山・弥彦や佐渡までも見渡すことができる眺望に、阿賀野市の新名所との声も聞かれました。つづいて、籠田集落へ。籠田集落は、土石流のため集落が移転した歴史を持っています。移転前の故地付近に建つ古諏訪神社と、諏訪神社を訪ねました。古諏訪神社では土地に刻まれた災害の歴史に思いを寄せ、諏訪神社では見事な彫刻に感嘆の声があがりました。その後、長谷川会長の山荘で美味しいお茶を。秋の風景を満喫しました。

### 6月例会のご案内

日 時: **6月17日(日) 10:00~12:00**

集合場所: 市立吉田東伍記念博物館

内 容: 初夏の研修旅行の事前学習として常設展示から吉田東伍の研究を振り返り、安田城跡と保田地区のまちなみを散策します。

※資料作成のため3日前までにお申し込み下さい。



### ◎ 会費納入のお願い ◎

会費  
(年額)

一般(高校生以上): 2,000円  
小中学生: 1,000円  
家族会員: 3,000円  
賛助会員: 1口10,000円

納入  
方法

博物館受付で直接納入するか、同封の振込用紙をご利用下さい。  
本通信と行き違いで既に会費を納入された場合はご容赦願います。

### 編集後記

春は心を新たにする季節です。開館以来お世話になっている渡辺史生さんが学校教育課へ異動、会計監事として友の会を支えていただいた石山昭而さん、廣田康也さんが退任されました。心から御礼を申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援をお願いします。友の会の新しいシーズンが始まります。楽しく学ぶ活動をめざしてがんばっていきましょう!(H・T)